



満員の景色 実現したい

はばたけ！
広島サンダース

久原 大輝

ここまでホームゲームを福山市、広島市、呉市、岩国市で8試合戦ってきた。ホーム開幕の福山市でのゲームは、オリジナルベースボールシャツの配布もあり、2800人を超える方にご来場いただいた。新たに「THUNDY」(サンディ)というファンネームを導入し、サーフ時のコールも選手の希望を踏まえて作成したことで、一体感はさらに高まっている。選手たちも「声援の力を本当に実感している」と口をそろえるが、どの試合も満員にはまだ届いていないのが現状だ。新井雄大、高木啓士郎両選手が「空席もあるので、ぜひ知り合いを連れて観戦に来てほしい」と語ったように、満員の景色は大きな励みとなる。

試合結果はもちろん重要である。アリーナに足を運んでくださる方が心から楽しみ、「また来たい」と思える時間を提供することこそ使命だ。満員のアリーナを実現するために、チーム、選手、スタッ

始球式を務めていただいた広島ドラゴンフライズの寺嶋良選手(左から3人目)と朝山正悟監督(中央)と記念撮影

(11月22日)



フが丸となり、より良いホームゲームづくりに取り組みたい。

来年1月のホームゲームは10、11日に広島グリーンアリーナ、17、18日にIHアリーナ呉で開催。ぜひ、会場で味わうバレーボールの魅力を感じてほしい。その面白さは筆者が保証する。

(広島マネジャー)